



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 魚力
 コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,689	8.1	266	0.2	336	7.0	244	6.9
2020年3月期第1四半期	7,280	3.9	265	35.7	314	21.3	228	43.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 518百万円 (160.5%) 2020年3月期第1四半期 199百万円 (53.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.50	
2020年3月期第1四半期	16.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	17,277	14,644	84.7	1,049.14
2020年3月期	17,073	14,381	84.1	1,030.04

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 14,631百万円 2020年3月期 14,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.00		18.00	36.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	3.3	480	22.5	600	22.5	410	33.6	29.40
通期	30,800	0.3	1,280	12.1	1,500	12.9	950	19.0	68.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	14,620,000 株	2020年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	673,663 株	2020年3月期	673,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,946,337 株	2020年3月期1Q	13,751,937 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の深刻な影響を受け個人消費、輸出が大きく減少し、四半期の実質GDP成長率について前期比マイナス5%超(年率換算マイナス20%超)というリーマンショック時を超える落込みが見込まれております。また、5月25日緊急事態宣言解除以降、経済活動が徐々に活発化していますが、流行の収束を見通すことはできず、感染拡大第2波、第3波が懸念される状況下にあります。

水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡がりによる仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。一方、地球的規模において地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において拡がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画(2018-2020年度)の下、「現場の活性化・従業員満足の向上」をめざし、営業・仕入、新規事業、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

特に、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について、小売店舗の営業時間短縮や飲食店舗の休業などもあり2020年4月単月の既存店売上高前年比は79.7%と大きく減少いたしました。売上高が伸びない中でも営業利益を確保できるよう、店舗ごとの人員再配置、店舗運営の一層の効率化などによる経費削減、他方、本社におけるリモートワークの一部導入などの取組みを行ってまいりました。

このような中、当社では日常生活に不可欠な食料品を取り扱っていることなどから、5月単月の既存店売上高前年比は92.6%、6月単月は101.7%と売上高が徐々に回復しております。

この間、小売事業で1店舗を出店し、当第1四半期連結累計期間末の営業店舗数は87店舗となりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は66億89百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は2億66百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は3億36百万円(前年同期比7.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億44百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、郊外立地店舗の一部が売上げを大きく伸ばす一方、ターミナル立地店舗を中心に客足が鈍ったため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じ店舗人員を再配置するなどの対応を行いました。また、「生活応援特売」フェアを行うなど仕入・営業が緊密に連携し全店を挙げて品質の高い商品を競争力のある価格で提供できるよう取り組みました。

新店は、2020年6月にJR亀戸駅に隣接する「アトレ亀戸」内に「亀戸店」(東京都江東区)を開店しております。

この結果、売上高は61億72百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は3億59百万円(前年同期比28.1%増)となりました。

②飲食事業

飲食事業では、4月から5月に亘り一部を除く店舗が休業を余儀なくされましたが、6月から7月にかけて順次、新型コロナウイルス感染症拡大対策を講じたうえで営業を再開いたしました。

この結果、売上高は48百万円(前年同期比73.6%減)、営業損失は73百万円(前年同期は営業損失0百万円)となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が外食チェーンを中心とした取引先に加え、当社が行っていた国内スーパーマーケットへの卸売を担うよう営業体制を集約いたしておりますところ、新型コロナウイルス感染症拡大により米国への輸出が一時停滞するなどの影響を受ける中、国内外にわたり新規・既存取引先への営業強化を図っております。

この結果、売上高は4億51百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は17百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は79億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億26百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が8億59百万円減少したことによるものであります。固定資産は93億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億29百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が10億60百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は172億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は26億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が1億49百万円増加したものの、未払法人税等が1億99百万円減少したことによるものであります。固定負債は31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは退職給付に係る負債が1百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は26億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は146億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億62百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億72百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.7%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたところ、同感染症拡大の収束は見通せませんが、当社売上高が相応に回復していることなどから、現時点で入手可能な情報や予測に基づき公表いたします。当該業績見通しは、第2四半期以降概ね通常ペースでの業績推移を前提としながら、拡販のためのコストをやや手厚く見込んでおります。

このような状況を踏まえ、2021年3月期の第2四半期連結業績予想につきましては、売上高140億円、営業利益4億80百万円、経常利益6億円、親会社株主に帰属する四半期純利益4億10百万円を、通期業績予想につきましては、売上高308億円、営業利益12億80百万円、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億50百万円を見込んでおります。

また、配当予想につきましても未定としておりましたが、上記の状況を勘案し、前年度と同額の中間配当金18円00銭、期末配当金18円00銭とすることといたしました。

なお、同感染症拡大が今後経済・社会に与える影響の程度や収束の時期などの要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,144,148	5,284,690
受取手形及び売掛金	2,285,561	2,315,355
商品及び製品	227,371	190,659
原材料及び貯蔵品	7,635	7,593
その他	122,563	163,366
貸倒引当金	-	△432
流動資産合計	8,787,279	7,961,232
固定資産		
有形固定資産	1,192,597	1,227,367
無形固定資産	23,577	22,629
投資その他の資産		
投資有価証券	5,136,538	6,196,957
その他	1,933,626	1,869,282
投資その他の資産合計	7,070,165	8,066,239
固定資産合計	8,286,340	9,316,236
資産合計	17,073,620	17,277,468
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,274	941,305
未払法人税等	356,221	156,679
賞与引当金	236,668	385,939
その他	1,033,633	1,117,574
流動負債合計	2,658,797	2,601,498
固定負債		
退職給付に係る負債	9,372	7,842
その他	24,000	24,000
固定負債合計	33,372	31,842
負債合計	2,692,169	2,633,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,466,286	1,466,286
利益剰余金	12,782,664	12,775,688
自己株式	△971,178	△971,178
株主資本合計	14,841,392	14,834,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△465,491	△192,681
為替換算調整勘定	△2,375	△2,309
退職給付に係る調整累計額	△8,300	△7,831
その他の包括利益累計額合計	△476,167	△202,822
非支配株主持分	16,225	12,534
純資産合計	14,381,450	14,644,127
負債純資産合計	17,073,620	17,277,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,280,185	6,689,469
売上原価	4,370,550	3,948,797
売上総利益	2,909,634	2,740,672
販売費及び一般管理費	2,643,877	2,474,344
営業利益	265,757	266,327
営業外収益		
受取利息	10,120	15,665
受取配当金	34,188	33,320
補助金収入	-	26,665
持分法による投資利益	8,620	12,204
為替差益	-	3,096
その他	3,414	4,809
営業外収益合計	56,343	95,761
営業外費用		
支払利息	35	-
為替差損	7,191	-
漁業者支援緊急対策費	-	25,154
営業外費用合計	7,226	25,154
経常利益	314,874	336,934
特別利益		
投資有価証券売却益	65,834	19,502
特別利益合計	65,834	19,502
特別損失		
固定資産除却損	2,466	2,367
投資有価証券償還損	7,291	-
特別損失合計	9,757	2,367
税金等調整前四半期純利益	370,951	354,069
法人税、住民税及び事業税	125,841	138,533
法人税等調整額	13,651	△29,730
法人税等合計	139,492	108,802
四半期純利益	231,458	245,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,056	1,209
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,401	244,057

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	231,458	245,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,931	272,809
為替換算調整勘定	△1,530	65
退職給付に係る調整額	△1,762	468
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,164	—
その他の包括利益合計	△32,388	273,344
四半期包括利益	199,069	518,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,012	517,402
非支配株主に係る四半期包括利益	3,056	1,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,636,096	182,997	445,082	7,264,176	16,008	7,280,185	—	7,280,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	41,928	41,928	4,650	46,578	△46,578	—
計	6,636,096	182,997	487,010	7,306,105	20,658	7,326,764	△46,578	7,280,185
セグメント利益又は損失(△)	280,675	△296	13,228	293,607	8,640	302,247	△36,489	265,757

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,489千円には、セグメント間取引消去△4,555千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△31,933千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,172,440	48,389	451,362	6,672,192	17,276	6,689,469	—	6,689,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	25,590	25,590	4,650	30,240	△30,240	—
計	6,172,440	48,389	476,952	6,697,782	21,926	6,719,709	△30,240	6,689,469
セグメント利益又は損失(△)	359,589	△73,715	17,800	303,674	10,212	313,886	△47,559	266,327

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,559千円には、セグメント間取引消去△4,914千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△42,645千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。